

表19. 質問5で「行政機関による情報提供」と回答した者における質問5-E-cの回答(複数回答)

		医療機関種別			合計(n=7)
		大学病院 (n=4)	市中病院 (n=1)	診療所 (n=2)	
パソコン(コンピュータ)	度数(%)	4(100)	1(100)	2(100)	7(100)

表20. 質問5で「行政機関による情報提供」と回答した者における質問5-E-dの回答(複数回答)

	度数(%)	医療機関種別			合計 (n=14)
		大学病院 (n=8)	市中病院 (n=2)	診療所 (n=4)	
診療している曜日・時間	1(12.5)	0(0)	1(25.0)	2(14.3)	
医療機器等の設備	6	1(50.0)	0(0)	7(50.0)	
診療の内容	6	2(100)	1(25.0)	9(64.3)	
受けることができる検査や治療の詳細	3	1(50.0)	0(0)	4(28.6)	
診療実績(外来患者数、検査実施数)	2	0(0)	0(0)	2(14.3)	
医師の専門性や経歴	1(12.5)	0(0)	2(50.0)	3(21.4)	
治療に要する平均的な通院期間	0(0)	1(50.0)	0(0)	1(7.1)	
連携している医療機関や施設	0(0)	0(0)	1(25.0)	1(7.1)	
その他	1(12.5)	0(0)	0(0)	1(7.1)	

表21. 質問5で「行政機関以外のホームページ」と回答した者における質問5-F-aの回答(複数回答)

		医療機関種別			合計 (n=42)
		大学病院 (n=23)	市中病院 (n=3)	診療所 (n=16)	
当院のホームページ	度数(%)	21(91.3)	3(100)	13(81.3)	37(88.1)
医師会のホームページ	度数(%)	0(0)	0(0)	4(25.0)	4(9.5)
口コミサイト	度数(%)	0(0)	0(0)	2(12.5)	2(4.8)
民間企業等が運営する医療機関のウェブサイト	度数(%)	4(17.4)	0(0)	1(6.3)	5(11.9)

表22-1. 質問5で「行政機関以外のホームページ」と回答した者における質問5-F-bの回答(複数回答)

		医療機関種別			合計 (n=42)
		大学病院 (n=23)	市中病院 (n=3)	診療所 (n=16)	
検索サイト(Yahoo、Googleなど)	度数(%)	11(47.8)	2(66.7)	11(68.8)	24(57.1)
家族から聞いた	度数(%)	4(17.4)	0(0)	5(31.3)	9(21.4)
友人・知人から聞いた	度数(%)	4(17.4)	0(0)	2(12.5)	6(14.3)
新聞、雑誌、書籍などを見た	度数(%)	1(4.3)	0(0)	0(0)	1(2.4)
テレビ、ラジオなどで見た(聴いた)	度数(%)	2(8.7)	0(0)	0(0)	2(4.8)
その他	度数(%)	5(21.7)	1(33.3)	0(0)	6(14.3)

表22-2. 質問5-F-b「その他」の主な記載内容

	記載内容
大学病院	以前に来たことがあるため。
	家族がこの病院に通院していたから。
	地域の拠点病院だから。
	近所のため
市中病院	院内の他科に通院中のため。

表23. 質問5-F-bで「検索サイト」と回答した者における検索サイトでのヒット順位

		医療機関種別			合計 (n=24)
		大学病院 (n=11)	市中病院 (n=2)	診療所 (n=11)	
上位3位以内	度数	3(27.3)	1(50.0)	5(45.5)	9(37.5)
	調整済み残差	-1.0	0.4	0.7	
上位10位以内	度数	2(18.2)	0(0)	1(9.1)	3(12.5)
	調整済み残差	0.8	-0.6	-0.5	
記載なし	度数	6(54.5)	1(50.0)	5(45.5)	12(50.0)
	調整済み残差	0.4	0.0	-0.4	

χ^2 検定、P=0.89

表24. 質問5で「行政機関以外のホームページ」と回答した者における質問5-F-cの回答(複数回答)

		医療機関種別			合計 (n=43)
		大学病院 (n=22)	市中病院 (n=3)	診療所 (n=18)	
パソコン(コンピュータ)	度数(%)	21(95.5)	3(100)	8(44.4)	32(74.4)
携帯電話、スマートフォン	度数(%)	1(4.5)	0(0)	11(61.1)	12(27.9)

表25. 質問5で「行政機関以外のホームページ」と回答した者における質問5-F-dの回答(複数回答)

		医療機関種別			合計 (n=42)
		大学病院 (n=21)	市中病院 (n=3)	診療所 (n=18)	
診療している曜日・時間	度数(%)	2(9.5)	1(33.3)	10(55.6)	13(31.0)
診察、検査、治療などの待ち時間	度数(%)	1(4.8)	0(0)	1(5.6)	2(4.8)
医療機器等の設備	度数(%)	1(4.8)	2(66.7)	1(5.6)	4(9.5)
診療の内容	度数(%)	12(57.1)	1(33.3)	9(50.0)	22(52.4)
受けることができる検査や治療方法の	度数(%)	3(14.3)	2(66.7)	4(22.2)	9(21.4)
診療実績(外来患者数、検査実施数な	度数(%)	0(0)	1(33.3)	1(5.6)	2(4.8)
医師の専門性や経歴	度数(%)	6(28.6)	1(33.3)	5(27.8)	12(28.6)
治療に要する平均的な通院期間	度数(%)	0(0)	0(0)	1(5.6)	1(2.4)
費用、支払い方法	度数(%)	0(0)	0(0)	1(5.6)	1(2.4)
安全のための取り組み	度数(%)	1(4.8)	0(0)	0(0)	1(2.4)
連携している医療機関や施設	度数(%)	1(4.8)	0(0)	0(0)	1(2.4)
院内の環境(アメニティ)	度数(%)	0(0)	0(0)	2(11.1)	2(4.8)
その他	度数(%)	2(9.5)	0(0)	1(5.6)	3(7.1)

表26. 質問6-aの主な記載内容

大学病院	テレビ、新聞
	スマートフォン
	ホームページとか普段利用しないのでわかりません。 身近の医師より情報を伝えてもらうことしか考えつきません。
	インターネット(例:咳の原因等。何故起こるか。)
	特になし
	各検査後、診察を受け、結果を聞くことができること。
	車両運転の際、カーナビを使います。カーナビ(道順)のどこかに総合診療の利点が告知できないか。CMベースでも可。
	医師から結果提供して欲しい。
	インターネット上のWebページ(スマホでの閲覧重要)
	インターネットHP、スマートフォンHP
	インターネット
	ネット、携帯
	テレビ等で情報提供して欲しい。
	ダイレクトメール
	新聞、雑誌、書籍、インターネット(パソコン、スマホ)。GM～踊れドクター～のようなドラマを作る。ドクターGのような番組。
	携帯、スマホを利用した案内(院内)。 例)IDとスマホを連携し、待ち時間予測、お知らせ
	公報、ホームページ
	今後もテレビ情報を期待しています。
	「テレビ」ドクターGのようなカンファレンスの状況を放映。
	インターネット 診療所医師へ情報提供とポスター
	ホームページ、本、メディア
	テレビ、新聞、HP、保健所、かかりつけ医からの紹介
	国立病院かと思えますので、出来ましたら公共機関等にパンフレットないしチラシなどもあれば良いです。
	ホームページ、携帯アプリ
	インターネットホームページ、携帯サイト
	書面
	インターネット(病院ホームページ、facebook、メーリングリスト)
	スマートフォンやタブレット用のページやサイトでの提供。
	特にありません(今のままで十分)。
	インターネット又は新聞
他の病院でのCT、MRI、レントゲン等の撮影を共有できるインターネットの活用をお願い 自分の病歴などがネットで全て分かる。1枚のカードで全ての病院の診察カードになるようになって欲しい。	
携帯電話で見れるホームページ	

	テレビで初めて総合診療部なる部署を知った。もう少し宣伝しても良いのでは。病院間の情報交換を積極的にして欲しい。
	テレビ、ラジオなどで誰でも聞けて、見れるものでの放送を多くして欲しい。
	今のままで良いと思う。
	ホームページが充実しており、初診でも安心できました。
	今のところ他にないので、携帯電話(ネット)。
	千葉テレビで毎週紹介して欲しい。
	DM(これくらいしか情報得る手段がない)。
	HPのわかりやすい位置での表示(新しい情報など見つけやすいと)。
	テレビ、インターネット
	千葉大のみでなく、他の医療機関の情報を統合検索しやすいサイトの構築。様々な医療情報が簡易に入手できるようにしてもらえるとありがたい。
	ホームページでのネット予約(予約手段を電話だけでなく、ネットでできるようにする。または、予約状況をネットで見れるようにする)。
	新聞
	インターネット、各種病院の一般公開情報として公開、知らせる。あるいは、各種病院に一般公開小冊子情報として置く。
	インターネット、市広報
	できる限り詳細に紹介していただきたい。
医療科大	症状を言えば、どこの医療機関が近くにあるか教えて欲しい。
	ホームページもいいとは思いますが、お年等でパソコンをさわらない方には、市政だよりも詳しい事を載せるといいと思います(定期的に)。
	メールでのやりとり。
	病院側に先に紹介状を送って目を通してもらえば診療時間の短縮になると思います。
	郵送
	新聞、本
	テレビ等に詳しく説明して欲しい
	ホームページを通し、情報入手させて頂けますし、又、質問や提供して戴きたい情報も依頼させていただけるかと思えます。
	病気のこと、その予防についてなどが書かれた無料パンフレット(小冊子)。これまでも病院、薬局に置かれているものを続けていただきたい。
	テレビでもネットでも何でも良いと思います。皆に伝わるようになり返し提供してほしいです。
	実際に利用したのですが、ホームページが受診に際しても役立ちました。
	口頭
	医療機関の間での情報提供伝達手段を簡単にして欲しい。
	文書や冊子など。
	電子データ(フォーマットが一般的なもの。ex)txt, jpg, pdf, csv等)。officeのように特定のアプリケーションに依存するものは、プラットフォームによっては使えない事がある。
	広報、市のホームページ、TVCM
	自分のカルテ内容やレントゲン写真をスマホ、PCで閲覧したい。
	携帯からの項目入力による受診案内

監 査 科 長	パソコン、スマホが出来ない人たちもいます。市の広報などで(総合診療科があることを知らなかった)
	ネットでの混雑状況
	ネット、テレビ、ラジオ等により広報で。
	パソコン、タブレットパソコン、携帯、スマートフォン。年配者向けには新聞、ポスター。市町村(行政)の広報。
	病状の詳しい内容。 診察後の手段。
	テレビ等
	友達から千葉では千葉大が良いと聞いています。
	自宅のPCへのメール
	大学病院のホームページ。
	携帯用のHP(スマホ、PC用のHPだけでなく)
	メディアで発表して下さい。
	インターネット 保健所や医療機関に冊子を置く。
	テレビ、インターネット(パソコン、iPad)
	かかりつけ医から聞く
	私の年代では、主に新聞ですが、あらゆる手段。
	オンライン情報(患者は手ぶらで紹介先に行けるよう。再度、問診表なども記載しなくて済む)
	インターネットのHP 医療機関紹介誌(マイホスピタル等) * 院内外来や病棟に設置する小冊子類のように誰でも手軽に利用できるよう。
	市民情報新聞等
	テレビ、ラジオ、個人宅のポスト投函
	インターネットのホームページを最初に調べるので、そこに情報が集約されていると便利です。
新聞(全国紙)の千葉版 インターネット上のホームページ	
パンフレット	
監 査 母 性	インターネット(HP)、新聞のちらし
	テレビのデータ放送
	簡単な症状毎の対応する診療科のガイド(パンフレット)
	土、日、休日での他病院への紹介
	特になし。
	現状で十分です。
	インターネット、携帯等でもっと情報を知ることが出来ると助かる。
	ホームページ リーフレット等印刷物
	テレビ、インターネット 携帯へ連絡情報があると良い(順番)

病院 市 中	メールマガジン
	インターネットのホームページの内容を良いものへ充実させて欲しい。
	市の健診で
	かかりつけ医は内科なので、他の科を受診する際に「この場合は何科なの？」と悩むことがあるので、病院のホームページ等でわかりやすい情報があると助かります。
診療所	メディアはやはりインターネット
	地域新聞、市などの健康福祉まつり
	携帯
	どんな検査を行ってもらえるか。 何日ぐらいかかるか。
	インターネット
	特にない
	パソコン
	iPhone
	ホームページの充実。
	どの病院が(医師が)どんな分野が得意なのかというのは口コミからでないといけないので、ネットとかで子供の病状などをクリックしたらこの症状ならこの病院がおすすめといった感じで、地域の病院がヒットするサイトがあれば良い。
	インターネットはもちろん、地域の情報誌などに定期的のせる。
	携帯電話で見れるホームページ
	各医療機関の専門の病院などの掲示板などがあれば、目で情報が見れ、年配の方には安心できるのではと思います。
	新聞等のメディア
	パソコンからの症状等。
	病院のパンフレット(簡単なもので可)。
	若い人たちはインターネットや何かで情報を得られるが、すぐに病院にかかりたいとか、ネットを使わない世代にもわかりやすい提供手段を考えて。
	PCによる細かい情報(診療内容、Drの紹介(写真付き)等)。
	HP
	パソコンなどのホームページ。パソコンなどを使用しない高齢者宅などにはやはり情報紙の提供が必要ではないか。
	ちらしなど(冊子など手にとって読めるもの)。
	インターネットなどパソコンをできない人のために情報を工夫して欲しい。
	タウンページ、インターネット。
携帯から待ち時間がわかると良いと思います。	
「NHKの今日の健康」の様なレベルでの”薬”に関する情報があれば助かる。 テレビ及び冊子両方あればよりgood!!	
近隣の大病院、開業医とのネットワーク構築	
混んでるとき、メールや電話などで混み具合など自分の順番がもうすぐですとか知らせてくれると。	
地域広報	
メルマガ、ホームページ等	
郵送	

診療所	古くから診療しているので安心してゐる。今後も診療は受けるつもりだが、自分の身体のことを知っているし、報告もしている。今後も同じようにする。問診時に聞いたりすることが多いので、知りうる限りの情報は必要と考える。
	文書で

表27. 質問6-bの主な記載内容

	待ち時間
	私と同様の症状で治療された方のその後の回復状況、対処療法等。
	特になし
	病気に対して、先生を選べること。
	検査結果(数値と写真も)
	町医者で大きく判別可能な診療科目は良いとしても、耳鼻科と歯科、内臓各科と皮フ科等、素人では分別出来ない関連性があるだろう…か。2科3科にわたる疑問に答えられる情報。
	新薬情報。新医療情報。
	症状から逆引きして診察すべき場所(病院、診療科)などが分かるもの。
	病気毎の治療実績など。
	ホームページは、もうちょっと詳しくして欲しい。
	自分の検査結果をネットで見る。
	医師の紹介をして欲しい。
	十分です
	自分の今の症状(しびれ)に関する情報があつたら欲しい。
	同じような症状の人の番組
	医師の人柄について等、イメージしやすい内容。
	自分の住んでいる近くで、こちらと同じ様な診療をしてもらえる病院の情報。
千葉大 附属病院	待ち時間
	症状から病名等がわかる情報。 病名から病気への対応がわかる情報。
	症状からどこの科を診察したら良いのかがわかるもの。
	先端医療治療の現状。 かかりつけ医とのインターネット通信による情報の共通化。
	どのように病名を探っていくか。
	検査の種類など
	かかりつけ医の診断で不安を感じるときに、他の病院、特に総合診療科があるということ。
	他院との違い(例:総合診療科がある等)。駐車場の詳しい情報(初めてで悩みました)。桜の開花情報(スミマセン。楽しみにしています。)
	総合診療部を知らなかったのもっとわかるようにHPでもして欲しい。
	診察する医師の名前、曜日、性別。
	放射性物質の体外排出について。
	難病について。病名の分からない病気等。
	どの病院はどの病気が専門か(得意か)。
	初診の際の注意事項をもう少し詳しく。
	紹介状を発行していただいた先生には感謝していますが、友人から勧められた千葉大附属病院での診療科の希望部門を質問されたが、私は素人であり、今まで診察した結果から判断して、先生の方から提案して欲しかった。
	どんな分野に特化しているか。

妊娠中なので薬を服用して大丈夫なのか。
総合診療と聞くだけでは診療をためらってしまうので、インターネットでもう少し詳しく教えてくれたら嬉しい。
病状から受診の案内(すすめ)。「こういう症状の時はこういった受診を勧めます」のような。「先端医療では、今まではつらかった〇〇検査、〇〇手術が、こんなに楽に簡単になりました」というような情報(リスクも含む)。例)心臓のレントゲン、胃カメラ、胆石
近い1週間の混み状況(予想)があると嬉しいです。
症例(薬物など使用して本人しかわからない、本人しか出ない症状がたくさんあると思います)。そんな症例はないと言われたので(実際、現在進行中なのに神経や更年期、又、鬱とかにすぐむすびつける)。10分の1しか言っていることが理解できない。
インターネット等による病気等情報。
最新医療情報。
先進医療、いいDr情報
診断名のリストがあれば参考になるのでは。診察から診断までの流れがあると安心感がある。
病状について詳しく説明して欲しい。
予約患者の当日予約数等。
薬剤アレルギーについての情報。薬が及ぼす影響。
総合診療部の内容
治験情報の充実。
症状からわかる病名。
紹介状が必要であるということの情報をインターネット以外でもわかるような方法があれば、老人にもわかりやすい。
治療方法
今のままでよいと思います。
病状はあるが、いろいろな病院に受診しても原因分からずの場合、どこに受診したら良いか関係の情報あるいは受診する病院、具体的な科ごとに関わる情報。要は、どこに受診するかわからない(各病院は各科に分別されているゆえ、具体的な受診科が不明な場合、困惑してしまう)。患者の立場に立って考えて欲しい。
病院を受診するとき、患者が受診科を選ばなければならないが、症状によっては、どの科に行けばよいか分からない場合があり、症状→何科の目安が分かるような情報があれば助かる。
それぞれの科に診察して下さる先生が何人位いらっしゃるかと、あと、受付済ました時間でいたい何時位に順番が廻ってくるか。
類似症例があればそのデータの開示
今後どのような生活をすればいいか
今のところ、自分の症状が普通なのか、それとも特殊なのか、もし特殊ならばいろいろ教えていただきました。もし役立てば、学会等での発表はOK!!
治療(処置内容)の履歴、予約情報
たくさんの症例
検査結果等、個人管理情報も見られるといい。
医師の得意な領域、病気
症状に対して何科を受診したら良いのか分からない時がある。細かく分かると患者は安心する。

ホームページを通し、情報入手させて頂けますし、又、質問や提供して戴きたい情報も依頼させていただけるかと思えます。
その病気、予防についての新しい情報、専門医院の紹介など。
知人に言われるまで総合診療というものを知りませんでした。原因が分からず苦しんでいる人は沢山いると思います。総合的に診てくれる所があるんだと、それが当たり前になるくらいにしてほしいです。
来院時の手紙(初診の時の記入する用紙や用意しておくもの、予約の有無を誰に、どのタイミングで伝えるか等)を示してあると、さらに良いと思えます。
症状全般
薬などで1日数回や適量をもう少しでいいので詳しく分かったら助かります。
かかりつけ医でどのような経緯のもと貴科へ来たのか。今までの症状の経緯。
実績
詳しい病状、発症した要因など、わかる範囲で教えて頂ければ。
検査結果(少なくとも検体検査の結果値)
検査データ、数値、画像etc それから類推、又は確定できる病名、治癒確率等々。
どのような医療を提供しているか、病院の独自性が分かると良い。
病気の実例の案内(治るまで)。
新薬の効能、副作用。現況の再生治療等。
対象症状の公開
会計などの待ち時間情報。Faxを送信した院外薬局での待ち時間情報。
「患者として注意すべきこと」を提供して欲しい。商品の宣伝などで医学的根拠のない情報(マイナスイオン効果など)が出回っています。それへの注意も専門の立場から提供して欲しい。
Q&A。症状別の受診科情報
一般の医療機関で原因不明という結果になった場合、どうすれば適正な科を選ぶのか教えて欲しい。
多受診でどんどん具合が悪くなるし、無駄な費用も時間もかかり大変です(私も4箇所受診した)。ふるいわけをしていただく為にも、このような総合診療部を早めに受診できるよう個人病院や行政からもすすめていただきたいです。
交通事故による障害情報。
自分の病気と同じ症状の経過。
障害者(自閉症や知的障害者)の情報やうつ病の情報が欲しい。
どの病気が多いとか、難病の種類の記事がよろしいと思えます。
受診科、相談窓口
病歴
病気治療の実績
すべて
カルテ等の内容。以前お世話になった先生が急死されて、薬のことで大変困った事から。
iPS細胞について(実用化、具体的な治療法に向けての取り組みとか) 長期的治療患者に必要な患者の生活の注意点等

	治療に関する詳しい情報 自分で検索できる様にして欲しい。
	地域に密着した医院等の専門性
長 大 病 院	症状に応じて受診すべき診療科が判断できるようなフローチャートなどがあるとうれしいです。
	治療にかかる費用 担当医師の得意分野、治療方法、方針等、他の医療機関との違い、特徴(千葉大病院だからできる治療、手術等)
世 中 に あ る 病 院	今のHPのもの、医師のプロフィール、各診療科の対応傷病名 病院の理念や目指すもの(体調が悪いとそれに励まされる事もあります)
	流行している感染症(地域の)とその感染防止策
	特にありません。
	患者に対しての説明。丁寧な手術の仕方とその後のケア。
	各科手術関係の情報、施術数、施術患者数、専門医数
	現状で十分です。
	歯科があることも知らなかったの、大きな病院は安心なため、どんな科があるかもっと情報提供が欲しい。
	どのような病気にはどのような症状が現れるか。病院としては、どのような検査、診療、治療が行われるか。検査や治療の能力はどうか。
	あまりあじみのない診療科もあるので、かみくだいて説明をのせてくれるとうれしいです。HPとか。
	流行しているウイルス等の情報
	待ち時間の詳細。地域で流行している感染する病気について(予防等)。
	はやっている病気
	どんな設備があるか等
	受付時間
	再診医療技術医の情報(難病他)。通常は近くでよいと思う。
	待ち時間の確認や予約できるシステム
	健診のお知らせ
医療機関の少ない地域なので、救急の際にあわてないような(夜間など)安心できるように充実して欲しいと心から願っております。小児科の先生が具体的に〇〇病院とか〇まる病院なら診てもらえるからと教えて下さった時は本当に嬉しかったです。	
Q&Aのページ。特に色々病気別に職員全員がそれぞれ受けた質問を情報共有し、公開。	
病気になったときに判断。電話で探るか。	
所 診 療	慢性疾患、生活習慣病
	初診にかかるおおよその費用等。
	特にない
	医師の情報:例えば行った手術数など。また経歴など。 診察時の実際の流れなども患者の立場になってわかりやすく説明があれば助かりま
	順番待ち情報。 費用明細(レントゲン、血液検査)、薬の種類(ジェネリック)の金額差、インフルエンザ予防接種の金額はなぜ病院毎に違うのか、ロコミ、ランキング、医師のプロフィール

	症状にあった病院等の紹介。
	今の待ち時間。
	通院している方の意見など。
所 薬 論	予約方法。 検査の行える種類(X-P、CT、採血等)。 受診している年齢層など(子供の受診に適しているのか見たい)。
	流行している病気についてや検査方法など。
	病院の混雑状況
	予約の有無。
	今でも十分なので特にはないです。
	最近、感染している病名と当院の治療可否。 治療不可の場合、他の病院の紹介。
	どの医療機関でどんな病気のどのような治療が受けられるのか。 また最新の医療法などはその有効性などの医師の見解。 地方でも十分な医療が受けられるための医療機関に関する情報。 訪問診療(歯科などは特に)などの情報。
	受付時間 インフルエンザの予防接種の状況(残りがあるかどうか)。
	どの分野が得意か、専門的に的確に答えて(詳しい病状を教えてくれるか)。
	同じ様な治療を自宅に近くのどこで受けられるか。またその効果。
	名医と言われる人のいる病院
	病状の治療に対する病院の信頼度。
	先端治療の状況など。
	受診できる検診の内容。 夫の会社(保険機関)経由で受診できる健康診断が受けられるか、出来ないかが、各病院によって違うので、その都度、確認が必要となる。
	症状別の受診科。 こういう症状の時は、〇〇科へ受診するといったような案内。
	体型や性別や年齢に応じた注意点や医療情報
	Drの経歴、学会員の情報など。
	診療時間
	家族ががんになり、抗がん剤治療を受けているが、副作用がでていて。少しでも楽に過ごせるような知恵、方法を知りたい。患者さん、医師、看護師の声をいただきたい。
	担当の先生や診療時間など。
	服用している薬の詳細、副作用。カルテを病院で保存しているが、患者本人の手元にはなぜいただけないのか。素人にもわかる説明。今後、現在の病状が元になり、進ん
	各病気に対する回復率、成功率
	休日の診察について。どんな症状でどこを受診すればよいか、どの程度までがまんしていいか、判断できる手段。
	ウェブでの予約。
	地図上に病院の位置が表示され、クリックすると診療時間や休日診療の有無などがある。

表28. 質問7の主な記載内容

院長 科長	特になし
	美容外科、健康食品、サプリメント 歯科インプラント(高額の割に内容が様々。あの歯科、この歯科で情報にバラツキがある。
	十分です
	待ち時間、休診日等を正確に。 担当医のスケジュール。
	看護師の写真掲載は怖いと思っています。悪用され事件に発展することもあると思うので、本物のモデルさんを使った方がよいのではないかと思います。
	個人が特定できるほどのレアな疾患患者に関わる情報。
	不安を増幅するような内容。
	個人情報保護
	ホームページをわかりやすく…
	広報は逆に広めるべき
	患者の病歴、症状
	ないです。何でも知りたいですから。個新情報は別として。
	新しいデータより古いデータを優先しないで欲しい。あくまで最新のデータを。
	現在の状況でよいと思う。
	アミロイドーシスが難病の一つであるとはまったく知らなかった。どこまで広報するかは医師の判断によるのが正しいと思うが、一方ではまったく公開ゼロでも困ることである。
	癌について。
	テレビ放映
	特になし(患者の個人情報は、現在、既に種々と配慮されているので)。
	私の年齢からすれば、役立てば発表OKです(慎重さはいらぬ)
	特になし(あえて言うなら精神疾患)
画像情報(写真など)	
健常であればたくさんの症例は大変参考になります。病んだ心であれば、あふれる情報は不安をつのらせます。問題は受け取る側にあるので、多くの情報を公開してほしい。	
個人が特定できるような情報	
(情報誌などで)必ず治ると言うのは、さけた方が良いのでは！？と思います。	
銀行の事務パートの仕事をしてしていますが、脳の病変と言うだけで頭がおかしいととらえる上司がものすごく多いので、そのような表現で仕事を追われてしまうのは断るので、その点を慎重にしていきたいです。脳よりもむしろ薬に副作用で苦しんでいる点が多いので。	

病院 科 長	慎重にすべきというよりも医学的うらづけ、統計的有意性述べて欲しいことがあります。ジェネリック医薬品がどの程度の有用なのか、統計的な議論をしてほしいと思います。
	むしろ広報が行き渡ってなくて、知らない人が多いと思います。専門的な細分化された治療も必要でしょうが、総合的に問診や病歴から判断していただけることはとても大切なことだと思います。
	すべてオープンにすべきと思います。
	全てです(匿名の統計情報を除く)
病院 中 心	病状によって欲しい情報(見たくない場合、目にしたくない場合あり)、は違うと思うので、HPなどでは一覧にせず、必要とすればクリックしてそのページに行くような配慮が欲しい。
	特にありません。
	特にありません。個人情報に注意していただければと思います。
	病状について最悪の状態になった時にどのような状態になるか。
	素人では判断できない風評になるようなデリケートな表現を必要とする内容。勘違いしそうな内容。
診療 所	自分にあった病院があればよいが、テレビ、ネット、よくわからないが病気になるのが一番であるが、年をとると体が老化するので。
	住所、診断名、名前。
	わかりません。
	いわゆる良い病院などの情報がどれが信用できるものなのかわかりにくい。 手術数などを信頼できるかたちで提供して欲しい。
	いろいろな病名の広報で、この病気だと次にこうなり、最終的にこうですなど、結果があからさまに出ているのはとても心配になることがあります。自分の病気が同じだった場合、とても不安になってしまいます。頭の中では理解していますが。
	特にありません。
	例えば、緊急で入院した時、自分が(患者が)希望する病院でない時、自由に選べるように医療機関側にも配慮して欲しいので、そういう情報を患者側にも入れてもらえたらいい。
	診療費(自費なのか、保険適用か) 病院、クリニックの設備、環境 医師の専門性
	治療法、薬品の効果。 治療の効果。
	病気や検査の時は、私たちはふつうの生活で忘れられがちであると思いますので、広く自由に広報して良いと思います。慎重にすべき点はないと思います。
慎重の意味はいろいろあると思うのですが。 それよりも「知らなかった」「わからなかった」などが減るように様々な病名などはどんどん世に知らせた方がいいと常日頃感じています。	